

学校名	福島市立松陵中学校	校長名	遠藤 哲		
住所	福島県福島市松川町字上桜内3番地の4	児童生徒数	382名	学級数	14
TEL	024-567-2040	ホームページアドレス	福島市教育委員会ポータルサイトより、お入りください。		

状況に応じた少人数指導の実践

1 少人数指導の計画等

本校では、「授業が受け身」である生徒の「更なる積極性を伸ばす」ことを学力向上のための改善点として捉えている。そして、「基礎基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進する」ことを本年度教育課題とし、学力面で「確かな学力を身につけようとする生徒」「学力を伸ばそうと努力する生徒」を目指し、教科によって工夫しながら少人数指導を実践している。

2 実践の概要(理科での実践例)

理科では、主に「実験」で加配教員によるT・Tを実施している。実験は、少人数グループで丁寧に指導を行い、実験の進捗状況を把握し支援することができた。そのため単純ミスによる実験の失敗はほとんどなく、話し合い活動や実験結果の分析に要する時間が確保でき、意欲的にまとめの活動を行うことができた。

また、元素記号や化学式等の知識理解では、T2による机間指導と個別指導を行い、つまづいた生徒の記録を蓄積し、特に理科を苦手とする生徒のための指導資料として活用している。

[学習ワークの活用]

学習の定着を図るために、全学年で学習ワークを利用して復習し、点検及び習熟度の確認を行っている。理科を苦手としている下位生徒及びアンダーアチーバーの生徒については、授業中や休み時間等に個別指導を行っている。

[定期テスト等の設問の工夫]

基礎的な知識の定着を図るため、ドリルや小単元ごとの豆テストを実施し、個別のつまづきについて補習指導した。また、定期テストでは、定着確認シートを参考にし、図解と記述を組み合わせた設問を工夫し、資料に示された情報や実験結果から導き出される結論を自分でまとめ説明する力を身に付けさせようとT・Tできめ細かな指導をした。生徒の理科に対する関心も高くなり、学力も付いてきている。



3 実践の成果と課題

- T・Tや複数教員による個別指導の実施により、生徒自身が十分理解できなかった部分やつまづきの原因が明確になり、自信をもって学習を積み上げていくことができる生徒が増えてきた。そのため生徒同士の話し合い活動では、積極的な姿が見られるようになり、意見に深まりが出てきた。
- 少人数指導について教科内の教員が連携を図り、共通実践することにより、きめ細かな指導についての考え方が深まり、さらなる指導の工夫改善がなされるようになった。
- 教科によっては、加配等によりT・Tや習熟度別による指導等が容易にできるが、教科の週あたりの時数や教科の教員数により、T・Tによる指導が困難な教科があり、全教科実施については、様々な創意工夫が必要である。

平成27年度 松陵中学校学力向上グランドデザイン



福島市立松陵中学校

本校教育目標

- 自ら学ぼうとする生徒(知育)
- 正しく判断し、進んで実行する生徒(徳育)
- 明朗でたくましい生徒(体育)

今日的な教育課題

- 豊かな人間性や社会性、日本人としての自覚を育成する。
- 自ら学び、考える力を育成する。
- 基礎基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進する。

めざす生徒像

- ① 確かな学力を身につけた生徒
- ② 学力を伸ばそうと努力する生徒
- ③ 地域や社会の人々から積極的に学ぼうとする生徒

本校生徒の実態

- 明るく素直
- 元気なあいさつができる
- 何事にもまじめに取り組む
- 授業が受け身
- さらなる積極性

凡事徹底

- ① 確かな学力を身につけようとする生徒

- ② 学力を伸ばそうと努力する生徒

- ③ 地域や社会の人々から積極的に学ぼうとする生徒

- ◎ **各教科の授業では**
 - 学び方を身につけさせる授業の実践(主体的な学習方法・構え)
 - ・適切な学習課題の設定
 - ・問題解決的な学習の展開
 - ・様々な学習形態、工夫
 - 生徒が学んだことを生き生きと発表できる授業の実践
 - ・自分の考えをまとめ、自分の言葉で表現し、状況に合った方法で発表できる生徒の育成
 - ・互いの考えを認め合い、励まし合える学習集団づくり
 - 学習のまとめを工夫した授業の実践
 - ・各種テスト結果の分析による学力向上への実践事項の工夫
 - ・より深く学力を定着させるための学習のまとめの工夫
 - ・学習を振り返り、さらに意欲を高めるための自己評価と相互評価の工夫

- ◎ **全校的な取り組みの中では**
 - 「授業の約束」の徹底
 - ・学習態度を整えるための重要性を全校生徒へていねいに周知し、学習への意識向上を図る。
 - 「学習コンクール」の実施
 - ・生徒会が中心となり実施し、各学級の達成度の競い合いにより、学習への取り組みや態度の定着を図る。
 - SRテストの実施
 - ・全校一斉の漢字、計算、英単語コンテストを実施し、基礎的な学力の定着を図る

- ◎ **総合的な学習の時間では**
 - 「地域を知る」ためのさまざまな調査活動の実施
 - ・地域人材の積極的活用
 - ・フィールドワークの工夫
 - 「地域に学ぶ中学生職場体験活動」の実施
 - ・職業に関する調査活動
 - ・地域企業に係る調査
 - ・進路選択へつなげる活動の工夫
 - 「地域で生きる」ための様々なボランティア活動の実施
 - ・地域での勤労奉仕活動等

- ◎ **各教科、学習活動では**
 - 家庭学習を充実させるための支援
 - ・家庭学習を促す課題の提示
 - ・効果的な家庭学習の指導
 - 各種検定、コンクール等への積極的参加の促進

- ◎ **「地域交流活動」をとおして**
 - 土曜授業日を活用し、中学生が、地域の様々な団体や住民と交流を図る。
(JRC活動研究推進指定校)
 - ・JRC活動精神の理解と実践
 - ・生徒会「松川を愛するプロジェクト」の実践と評価

- ◎ **心の教育をとおして**
 - 地域社会の一員としての自覚の醸成
 - JRCの精神に則る勤労の意義や奉仕の精神の理解
 - 他者への思いやり、感謝の思い
 - 3「あ」運動の推進
あいさつ・あんげん・あとしまつ